



町政に関する

一般質問の主題

一般質問の会議録全文は
町議会ホームページから検索できます

増田 秀雄

- 松伏町におけるボランティアの役割と今後の方向性について
- 通学時の暑さ対策について
- クリーン作戦のあり方について

川上 カ

- ごみの減量と循環型社会形成に向けた環境教育・町民参加の仕組みについて
- 実効性のある手話言語条例の制定に向けた取組について
- 「生命(いのち)の安全教育」の確実な実施について

村上 真由美

- 避難所開設訓練の成果と、次世代の防災リーダー育成について
- 指定母子避難所の確保と専門職巡回体制の構築を
- 低出生体重児等の家族に対する支援について

7人の議員が町政を問う

田口 義博

- まつぶし生活応援給付金について

佐藤 永子

- 町長の公約実現と今後の町政運営について
- 盆フェスまつぶしの支援について

平野 千穂

- 「楽器寄附ふるさと納税」の導入を
- 長宮地区に貯留機能を有した公園整備で内水氾濫の軽減を
- 高齢者バス・タクシー券の拡充と今後の地域公共交通政策について

吉田 俊一

- 斜面地における倒木問題と樹木管理について
- 学校施設の老朽化に伴う予算措置は十分なのか
- 中東情勢に伴う物価高騰、原油やナフサ不足によるくらしと経済への影響について
- 県と市町村による国民健康保険共同運営に関する議論について



ますだ ひでお
増田 秀雄
(未来クラブ)

Q 通学時の暑さ対策について

A 2学期の始業式を9月1日とした

問 児童、生徒の通学時の暑さ対策について。

答 教育長 令和8年度より、夏場の気温上昇による児童生徒の登下校の安全に配慮するため、小・中学校の第2学期の始業式を9月1日とした。

教育総務課長 各学校では、熱中症の予防対策としては、水筒の持参を許可したり、首元を冷やすネッククーラーや日傘の使用を認める対応をしております。水筒やネッククーラー等については、毎年学校から保護者に対し、手紙やメール配信等を活用して周知し、使用を勧めている。今後、各学校において、ネッククーラーや水筒等の持参の状況について、把握に努めていく。

問 ボランティアの役割と今後の方向性について。

答 町長 ボランティアは、全国的に地域コミュニティの希薄化が懸念されるなか、災害対応や見守り、子育て支援などでその重要性がますます増しているものと認識している。

町では、関係課が事務局となり、ボランティアの募集や運営の補助を行っている。一方で、社会福祉協議会は、これまで培ってきたノウハウや地域とのつながりを持っていることから、それを最大限に活かすため、町と社会福祉協議会が更に連携を図り、必要な支援や情報共有を行うことが、町全体のボランティア活動の推進につながるものと考えている。



熱中症対策用各種グッズ



かわかみ つとむ
川上 力
(公明党)

Q 実効性のある手話言語条例制定を

A 関係者が継続参加できる体制検討

問 松伏町は東埼玉資源環境組合において、一人当たり・世帯当たりの可燃ごみ排出量が比較的多い状況だ。東京都日野市では「ごみゼロ推進員制度」を展開し、一人1日当たりのごみ排出量が3年連続で全国1位の少なさになった。ごみの減量に向け町も同様の制度を導入できないのか伺う。

答 環境経済課長 議員ご指摘の制度の導入については、近隣市の状況も踏まえて調査研究していく。

問 実効性ある手話言語条例の制定に向けての現状と、埼玉県「手話環境整備施策推進懇話会」を参考に、当事者や関係者が条例制定後にも参画する協議の場を設置できないのか伺う。

答 いきいき福祉課長 検討委員会は令和8年2月17日に第1回、4月16日に第2回を開催。7月1日に開催予定の第3回の委員会でパブリックコメント用の条例（素案）を協議予定。令和9年1月に第4回目の委員会を開催し最終的な条例案

を協議し、3月定例会に条例（案）を上程できるよう進める。また、埼玉県が設置している懇話会のような、当事者や関係者が継続的に参画できる協議の場も検討する。

問 「生命（いのち）の安全教育」の実施について伺う。

答 教育総務課長 議員ご指摘のとおり、段階的・計画的に実施の必要があると認識。外部人材が行う授業に保護者が参観できるようにする等の取組に努める。



手話に対する関心や理解が大切



むらかみ まゆみ
村上 真由美
(公明党)

Q 母乳バンクの取り組みを広く周知

A より多くの方に情報を届ける

問 緊急の出産や、母体の健康状態で母親の母乳をあげられない場合がある。寄付された母乳「ドナーミルク」を提供する「母乳バンク」の取り組みを広く知ってもらう必要がある。また、母乳を提供したい方への情報も周知できないのか。

答 すこやか子育て課長 母子手帳交付時やHelloベビー教室などで情報提供、町ホームページへの掲載、8月導入の母子健康手帳アプリを活用した周知も検討する。また、ドナーミルクの提供に協力できる方が確認できるよう、実施機関のホームページや相談窓口の情報提供に努める。

問 避難所開設訓練を通じて防災への意識が高まった中学生達のモチベーションを維持し、専門性を高めるため、町独自の中学生防災リーダー認定制度の創設を導入すべきと考えるがどうか。

答 地域安全課長 町の防災リーダー認定講習会に中学生も参加できるよう中学校を通じて校内でのポ

スターの掲示、募集チラシの配布、各種SNSを活用し周知する。また、中学校のメール配信システムを活用し保護者にも周知していく。

問 母子の心身を守るため、福祉避難所の一部に『妊産婦・乳幼児専用枠』を平時から指定しておく考えはないのか。

答 すこやか子育て課長 母子に配慮した避難環境の整備を関係各課と連携し、調査・研究する。



一般財団法人日本財団母乳バンク



たぐち よしひろ
田口 義博
(自民無所属の会)

Q 生活応援給付金をスムーズに

A 丁寧な周知ときめ細やかな支援に

問 この事業は、国の物価高騰を受けて町民生活への支援として町民一人当たり5,000円を世帯主へ一括して支給するもの。町はスマホ町役場を活用した迅速かつ利便性の高い受給ができる新たな取り組みを導入された。DV等を理由に住民登録せず、また、住民登録したまま町外に避難されている方への対応はどのように考えているか。

答 町長 スマホ町役場から申請し、セブン銀行ATMから給付金を受け取る仕組みを導入する新たな取り組み。私の公約である「子育て全力応援の町」を掲げていることから、令和8年4月2日から8月31日までに出生されたお子様にもウェルカムベビー給付として給付する。(町独自の事業)

政策総務課長 DV等を理由に町外に避難された方は、ご本人から申請時に公的機関が発行する証明書を提出することで個別に対応する。転出された方などについては、基準日が4月1日時点にお

いて住民基本台帳に登録されている方が対象。

問 セブン銀行ATMによる支給方法に至った理由と基準日から通知発送まで2か月を要した理由は。

答 政策総務課長 現金給付をより迅速かつ確実にお届けするため、新たに導入した。町民の皆様の申請手続きの負担軽減、事務処理の効率化に加え、郵送費等の経費削減につながる。スマホ町役場との連携、動作の確認、検証作業を慎重に対応した。



LINEの「送金のお知らせ」画面(例)



さとう えいこ
佐藤 永子
(自民クラブ)

Q 町長の公約実現とその事業は !!

A 学校給食を始め公約の70%が進捗

問 町長が就任後の初めての令和8年度予算の中で、公約が実現できる事業は。

答 町長 主な事業は学校給食の無償化と学校体育館へのエアコンの導入に向けた詳細設計や生活密着型のまつぶし生活応援給付金の実施と、水道料金の基本料金の減免など、令和7年度と含めて公約全体の7割を超える事業の進捗が図られている。

問 町民が主役のまちづくりの具体的な事業は。

答 政策総務課長 行政が一方的に施策を進めるのではなく、町民の皆さんと対話し共にまちづくりを進めていくことである。事業は「高野町長と語ろう！オープンミーティング」です。まちへの愛着や誇りを持ってまちづくりの担い手として参画していただく。

問 盆フェスまつぶしの具体的な支援を問う。

答 行財政課長 会場となる松伏記念公園の光の門周辺及び駐車場の施設使用料の全額免除をする。そ

れ以外の施設や設備の事前相談を進めており、資金面の支援はまつぶし地域づくりチャレンジの補助金申請を受け付けて審査の段階となっている。一団体年一回で補助対象経費の1/2で5万円を上限としている。



盆踊りで未来につなぐ 地域の輪と和、円と縁



ひらの ちほ
平野 千穂
(日本共産党)

Q 高齢者バス・タクシー課題取組は

A 券の複数枚利用など整理したい

- 問** 高齢者バス・タクシー券、申請者からの意見は。
- 答** **いきいき福祉課長** 枚数を増やしてほしい。74歳以下を含む世帯も75歳以上の世帯と同額にしてほしい。複数枚利用を認めてほしい。など。
- 問** 令和8年度は、初めて前年度と同額予算、同じ運用となっているが、申請者からの意見や課題をどのように認識し、取り組んでいくのか問う。
- 答** **いきいき福祉課長** 申請や交付の方法、利用券の複数枚利用など、来年度からの次期「高齢者福祉計画」と併せて整理したいと考えている。
- 問** 長宮地区は、新築住宅や集合住宅が増えているが公園が1つもない。また数年に一度内水氾濫も発生するため、貯留機能等を有した公園を整備することで内水氾濫の軽減に寄与すると考える。同地区は、第6次総合振興計画の土地利用検討エリアの1つだが、土地利用の優先度は何だと考えるか。
- 答** **町長** 土地利用検討の優先度は、町民の意向や地

権者の合意形成、幹線道路の整備状況等を踏まえ、総合振興計画に位置づけている企業誘致による雇用創出等を最優先に検討を進めている。町の都市公園は、町内に20か所45.83ha整備されており、町民1人当たりの公園面積で県内上位に位置している。計画的な土地利用を進めることで、長期的には、公園の整備を含む住環境の整備の充実にもつながるものと考えている。



枚数増や複数枚利用が求められている高齢者タクシー券・バス券



よしだ しゅんいち
吉田 俊一
(日本共産党)

Q 斜面地の倒木、樹木管理について

A 関係課・関係者と連携していく

- 問** 築比地の斜面林で、5月連休中に倒木が発生。貴重な斜面林だが樹木の高木化などの問題がある。丸山団地・住宅西側斜面の高木化した樹木にも不安の声が上がっており、伐採の要望が出ている。丸山団地の西側斜面の樹木について、町はどのように対応するのか。
- 答** **地域安全課長** 地域の皆様が不安に感じていると十分認識している。関係課と連携して適切に管理していく。
- 問** 斜面林での倒木は、用水路を超えて遊歩道や水田にまで届く大きな倒木だったが、住民からの通報後すぐ対処されたと聞いている。経過の説明を。
- 答** **環境経済課長** 5月4日午前9時頃、通報を受けた守衛から、まちづくり整備課長へ。課長が現場確認。2ヶ所で倒木を確認。金野井用水にまたがり、アスファルトの遊歩道の通行に支障、1ヶ所は水田まで達していた。町職員が倒木の枝を落と

すなど、午前中に遊歩道は通行できるよう応急措置。水田に達した枝も除去。水田地権者には環境経済課から連絡、ご理解をいただいた。

その後7日に用水路を管理する葛西用水路土地改良区に報告し、対応を協議。倒木が町所有のものでなかったこと、用水路の通水に支障をきたすおそれがあることから、土地改良区で樹木の撤去を行うことに。15日までに撤去されている。



築比地斜面林と倒木



丸山団地・西側斜面の高木